

# 齒科医学各論

齒科医学各論

# 歯科医学各論〔約50%〕

## 各論 I 歯科疾患の予防・管理〔約6%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 齲蝕の予防・管理	A 齲蝕の病因		
	B 齲蝕活動性試験・評価		
	C ライフサイクルと齲蝕		第一次・第二次・第三次予防を含む
	D 齲蝕の予防手段		
	E 齲蝕予防効果の評価		
	F フッ化物の応用法		
	G 根面齲蝕の予防		
2 歯周疾患の予防・管理	A 歯周疾患の病因		
	B 歯周疾患のリスクファクター・診断		
	C ライフサイクルと歯周疾患		第一次・第二次・第三次予防を含む
	D 歯周疾患と生活習慣病		
	E 歯周疾患の予防手段		
	F 歯周疾患予防効果の評価		
3 不正咬合の予防・管理	A 不正咬合発生・進行の要因		
	B 不正咬合の初期症状		
	C 不正咬合発生の予防		
	D 不正咬合進行の抑制		
4 口臭の予防・管理	A 口臭の原因		
	B 口臭の診断		
	C 口臭の予防・治療		
5 その他の疾患の予防・管理	A 歯の酸蝕症・摩耗症		
	B 歯の着色・変色		
	C 歯・口腔の外傷		
	D 唾液腺疾患		口腔乾燥症
	E 顎関節疾患		
	F 味覚障害		
	G 口腔粘膜疾患、口腔癌		
6 保健指導	A 口腔清掃の意義		
	B 口腔清掃法		
	C 口腔清掃指導		

大項目	中項目	小項目	備考
	D 食事・栄養・間食指導		
	E 生活習慣指導		
	F ライフサイクルと口腔機能育成・増進指導		禁煙指導・支援を含む

各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態〔約20%〕

(I) 成長発育段階における異常

大項目	中項目	小項目	備考
1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天性疾患	A 口唇・口蓋裂		
	B 顔面裂		
	C 鎖骨頭蓋骨異形成症〈鎖骨頭蓋異骨症〉		
	D 骨形成不全症		
	E Treacher-Collins 症候群〈下顎顔面異骨症〉		
	F Crouzon 症候群〈頭蓋顔面異骨症〉		
	G Apert 症候群〈尖頭合指症〉		
	H 軟骨無形成症		
	I Goldenhar 症候群〈鰓弓症候群〉		
	J Marfan 症候群		
	K Russell-Silver 症候群		
	L Turner 症候群		
	M Beckwith-Wiedemann 症候群		
	N Pierre Robin 症候群		
	O エナメル質形成不全(症)		
	P 象牙質形成不全症		
	Q 象牙質異形成症		
	R 先天性表皮水疱症		
	S 外胚葉異形成症		
	T 先天性色素失調症		
	U 低フォスファターゼ症		
	V Papillon-Lefèvre 症候群		
	W 先天性好中球機能不全症		
	X Down 症候群		
	Y Klinefelter 症候群		
	Z 18 trisomy 症候群		
	AA 猫鳴き症候群		
AB その他の先天異常			先天梅毒
2 顎口腔領域の発育異常	A 下顎頭欠損		
	B 関節突起発育不全		
	C 下顎頭肥大		
	D 顎関節疾患		
3 小児の歯・口腔・顎疾患	A 過剰歯		正中歯
	B 歯の先天欠如		

大項目	中項目	小項目	備考
	C 癒合歯、癒着歯		
	D 双生歯		
	E 異常咬頭		中心結節
	F 異常結節		切歯結節、カラベリー結節、プロトスタイリッド
	G 歯内歯		
	H 矮小歯		円錐歯
	I タウロドント		
	J 異所性エナメル質		エナメル滴、エナメル突起
	K 歯のフッ素症		
	L エナメル質形成不全（症）		Turner の歯、エナメル質減形成症
	M 歯牙腫		
	N 歯の異所萌出		
	O 埋伏歯		
	P 低位乳歯		
	Q 早期萌出乳歯		先天歯、新生児歯
	R 歯の萌出遅延		
	S 口唇炎		
	T 口角びらん		
	U 口唇の咬傷		
	V 口唇ヘルペス		
	W 歯肉膿瘍		
	X 萌出嚢胞		
	Y 上皮真珠		
	Z 舌の異常		巨舌症、小舌症、地図状舌
	AA Riga-Fede 病		
	AB Bednar アфта		
	AC 疱疹性歯肉口内炎		

大項目	中項目	小項目	備考
	AD 手足口病		
	AE ヘルパンギーナ		
	AF Koplik 斑		
	AG 口腔カンジダ症〈鷲口瘡〉		
	AH 上唇・舌小帯異常		
	AI 粘液(貯留)嚢胞		
	AJ Blandin-Nuhn (腺) 嚢胞		
	AK 歯槽骨炎		
	AL 顎骨骨膜炎		
	AM 顎骨骨髓炎		
	AN 歯根嚢胞		
4 小児の歯の外傷	A 小児の歯の外傷の状況と影響		
	B 診察と診断、治療方針		
	C 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過		
	D 小児の歯の外傷の予防		
5 歯列・咬合異常の予防	A 歯列・咬合の発育を乱す要因		
	B 咬合誘導の考え方		
	C 保隙		
	D 動的咬合誘導		
	E 口腔習癖とその対応		

(II) 歯列・咬合異常

大項目	中項目	小項目	備考
1 不正咬合の病因・病態	A 正常咬合の概念と成立の条件		
	B 不正咬合の種類		
	C 不正咬合の分類		
	D 不正咬合の原因		
	E 不正咬合による障害		
2 不正咬合の診断	A 診察		
	B 検査		
	C 診断		抜歯・非抜歯の判定を含む
	D 治療計画		
3 矯正力と固定	A 狭義の矯正力		
	B 顎整形力		
	C 生体反応		

大項目	中項目	小項目	備考
	D 固定		
4 矯正装置	A 咬合斜面板		
	B 咬合挙上板		
	C アクチバツール		
	D バイオネーター		
	E Fränkel 装置		
	F リップバンパー		
	G ヘッドギア〈上顎顎外固定装置〉		
	H チンキャップ〈オトガイ帽装置〉		
	I 上顎前方牽引装置		
	J スライディングプレート		
	K マルチブラケット装置		
	L リンガルアーチ〈舌側弧線装置〉		
	M 急速拡大装置		
	N 緩徐拡大装置		
	O クワドヘリックス		
	P タングクリブ		
	Q Nance のホールディングアーチ		
	R トランスパラタルアーチ		
	S セクショナルアーチ		
	T Hawley タイプリテーナー		
	U ラップアラウンドリテーナー 〈Begg タイプリテーナー〉		
V トゥースポジショナー			
W 犬歯間保定装置			
5 不正咬合の治療	A 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療		
	B 永久歯列期の不正咬合の治療		
	C 先天性疾患を伴う不正咬合の治療		
	D 顎変形症の治療		
	E 補綴・歯周治療との併用		
	F 治療中の管理		
	G 保定		
	H 偶発症		

各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織疾患〔約24%〕

(Ⅰ) 齲蝕・硬組織疾患

大項目	中項目	小項目	備考
1 小児の齲蝕・硬組織疾患	A 乳歯齲蝕		
	B 幼若永久歯齲蝕		
	C 小児齲蝕のリスクファクター		
	D 齲蝕が小児の心身に及ぼす影響		
2 成人の齲蝕・硬組織疾患	A 齲蝕		
	B 齲蝕のリスクファクター		
	C くさび状欠損		
	D 咬耗症		
	E 摩耗症		
	F 酸蝕症		
	G 形成異常		
	H 歯の変色・着色		
	I 歯の破折		
3 高齢者の齲蝕・硬組織疾患	A 高齢者の齲蝕の治療		
	B 高齢者の非齲蝕性硬組織疾患の特徴		
	C 高齢者の歯の変色・着色の特徴		
4 齲蝕・硬組織疾患の治療	A 乳歯の歯冠修復法		
	B 永久歯の直接修復法		
	C 永久歯の間接修復法		
	D 窩洞形成法		
	E 象牙質・歯髄保護法		
	F 補修修復		
	G 身体的・社会的・心理的要因と保存修復		

(Ⅱ) 歯髄・根尖性歯周組織疾患

大項目	中項目	小項目	備考
1 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患	A 乳歯の歯髄疾患		
	B 乳歯の根尖性歯周組織疾患		
	C 幼若永久歯の歯髄疾患		
	D 幼若永久歯の根尖性歯周組織疾患		
2 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患	A 象牙質知覚過敏症		
	B 歯髄疾患		
	C 根尖性歯周組織疾患		
	D 歯内一歯周疾患		

大項目	中項目	小項目	備考
	E 歯の外傷		
	F 歯根吸収		
	G 根尖性歯周組織疾患が全身の健康に及ぼす影響		
3 高齢者の歯髄・根尖性歯周組織疾患	A 高齢者の歯髄疾患の特徴		
	B 高齢者の根尖性歯周組織疾患の特徴		
4 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療	A 歯髄保存療法		
	B 歯髄除去療法		
	C 感染根管治療法		
	D 外科的歯内療法		
	E 顕微鏡を用いた歯内療法		
	F 歯髄・根管処置における偶発症		
	G 全身疾患を有する者の歯内療法		

### (Ⅲ) 歯周疾患

大項目	中項目	小項目	備考
1 小児の歯周疾患	A 小児の歯肉炎・歯周炎		
	B 小児の歯周疾患への対応		
2 成人の歯周疾患	A 歯肉疾患		
	B 歯肉疾患の修飾因子		
	C 歯周炎		
	D 歯周炎のリスクファクター		
	E 壊死性歯周疾患		
	F 咬合性外傷		
	G 歯周膿瘍		
	H 歯周疾患と全身疾患との関わり		
3 高齢者の歯周疾患	A 歯肉退縮		
	B 高齢者における歯周疾患と全身疾患との関わり		
4 歯周疾患の治療	A 歯周基本治療		
	B 歯周外科治療		
	C 歯周組織の再生療法		
	D 根分岐部病変の処置		
	E 咬合治療		
	F 局所薬物療法		

大項目	中項目	小項目	備考
	G メインテナンス、SPT 〈supportive periodontal therapy〉治療		
	H 全身疾患を有する者の歯周治療		

各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患〔約26%〕

(Ⅰ) 主として軟組織に関連する疾患の病態と治療

大項目	中項目	小項目	備考
1 先天異常と変形を主徴とする疾患	A 口唇・口蓋裂		
	B 先天性鼻咽腔閉鎖不全		
	C 顔面裂		
	D 口唇・頬部の異常		
	E 舌・口底の異常		
	F 歯肉・口蓋の異常		
	G 小帯の異常		
	H 先天異常と変形に対する治療		言語治療を含む
2 軟組織の損傷	A 口腔軟組織の損傷		
	B 顔面軟組織の損傷		
	C 損傷に対する治療		
3 軟組織の炎症	A 歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉		
	B 口腔軟組織の炎症		
	C 蜂窩織炎		
	D 所属リンパ節の炎症		
	E 歯性扁桃周囲炎		
	F 歯性上顎洞炎		
	G 歯性全身感染症		菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症(性)反応症候群〈SIRS〉
	H 特異性炎		放線菌症、口腔結核、口腔梅毒、
	I 炎症に対する治療		
4 軟組織に発生する嚢胞	A 萌出嚢胞		
	B 歯肉嚢胞		
	C 粘液(貯留)嚢胞		
	D 類皮嚢胞、類表皮嚢胞		
	E 鼻齒槽嚢胞		
	F 鰓嚢胞〈側頸嚢胞、リンパ上皮性嚢胞〉		
	G 甲状舌管嚢胞		
	H 嚢胞に対する治療		

大項目	中項目	小項目	備考
5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	A 歯原性良性腫瘍		
	B 非歯原性良性腫瘍		
	C 口唇癌		
	D 舌癌		
	E 頬粘膜癌		
	F 口蓋癌		
	G 上顎・下顎歯肉癌		
	H 口底癌		
	I 上顎洞癌		
	J 軟組織の肉腫		
	K 白血病		
	L 悪性リンパ腫		
	M 悪性黒色腫		
	N 前癌病変、前癌状態		
	O 腫瘍類似疾患		エプーリス、義歯性線維腫
	P 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	a 外科療法	再建術・頸部郭清術を含む
		b 化学療法	
		c 放射線治療	
		d 免疫療法	
	Q がん治療前後の患者管理	a 治療前の患者管理	
b 治療後の患者管理			
c がんの告知			
e 社会復帰			
f 末期癌患者の管理〈緩和医療〉			
6 口腔粘膜疾患	A 単純疱疹〈疱疹性口内炎〉		
	B 帯状疱疹		
	C ヘルパンギーナ		
	D 手足口病		
	E 天疱瘡		
	F 類天疱瘡		

大項目	中項目	小項目	備考
	G 表皮水疱症		
	H 多形滲出性紅斑		
	I 粘膜・皮膚・眼症候群 〈Stevens-Johnson 症候群〉		
	J 中毒性表皮壊死剝離症 〈TEN〉		
	K 全身性エリテマトーデス 〈SLE〉		
	L 慢性再発性アフタ		
	M Behçet 病		
	N 壊死性潰瘍性歯肉口内炎		
	O 壊疽性口内炎		
	P 薬物性口内炎		
	Q 口腔扁平苔癬		
	R 口腔カンジダ症		
	S 白板症		
	T 紅板症		
	U メラニン色素沈着症		
	V 外因性色素沈着		
	W 色素性母斑		
	X Peutz-Jeghers 症候群		
	Y von Recklinghausen 病 〈神経線 維腫症〉		
	Z McCune-Albright 症候群		
	AA 口角びらん		
	AB 口腔乾燥症		
	AC 鉄欠乏性貧血		
	AD Hunter 舌炎		
	AE 溝状舌		
	AF 黒毛舌		
	AG 化膿性舌炎		
	AH 地図状舌		
	AI 正中菱形舌炎		
	AJ 肉芽腫性口唇炎、 Melkersson-Rosenthal 症候群		
	AK 接触性口唇炎		
	AL 口角炎		
	AM 口腔粘膜疾患に対する治療		

(Ⅱ) 主として硬組織に関連する疾患の病態と治療

大項目	中項目	小項目	備考	
1 顎・顔面の変形を来す疾患	A 顎変形症			
	B 骨増生			
	C 加齢に伴う顎骨の変化			
	D 下顎頭欠損			
	E 顎・顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群			
	F 顎・顔面骨の変形・欠損に対する治療	a 顎矯正手術		
		b 補綴前外科手術		
		c 顎骨形成術		
d 骨移植術〈骨増量術〉				
e 骨延長術				
f 上顎洞底挙上術				
g 下顎頭形成術				
2 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷	A 歯の脱臼・破折			
	B 骨折の様態			
	C 歯槽骨骨折			
	D 下顎骨骨折			
	E 関節突起骨折			
	F 上顎骨骨折			
	G 頬骨・頬骨弓骨折			
	H 鼻骨骨折			
	I 眼窩壁吹き抜け骨折			
	J 口腔上顎洞瘻			
	K 損傷に対する治療			
3 歯槽骨・顎骨の炎症	A 歯槽骨炎			
	B 顎骨炎			
	C 顎骨骨膜炎			
	D 顎骨周囲炎			
	E 顎骨骨髓炎			
	F 歯性上顎洞炎			
	G 放射線性骨壊死			
	H ビスホスホネート関連顎骨壊死・顎骨炎			
	I 外歯瘻、内歯瘻			

大項目	中項目	小項目	備考	
	J 顎骨周囲軟組織の炎症			
	K 炎症に対する治療			
4 顎骨に発生する嚢胞性疾患	A 歯根嚢胞			
	B 歯周嚢胞			
	C 含歯性嚢胞〈濾胞性歯嚢胞〉			
	D 原始性嚢胞			
	E 鼻口蓋管〈切歯管〉嚢胞			
	F 術後性上顎嚢胞			
	G 単純性骨嚢胞			
	H 脈瘤性骨嚢胞			
	I 静止性骨空洞			
	J 嚢胞に対する治療			
5 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患	A 歯原性良性腫瘍			
	B 歯原性悪性腫瘍			
	C 非歯原性良性腫瘍			
	D 非歯原性悪性腫瘍			
	E 骨関連病変			
	F 骨増生〈骨隆起〉			
	G 線維骨性病変			
	H 巨細胞性病変			
	I Langerhans 細胞組織球症 〈Histiocytosis X〉			
	J 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	a 顎骨腫瘍の外科療法		
		b 顎骨の再建		
		c 顎顔面補綴		
		d 顎顔面インプラント治療		

(Ⅲ) 主として機能に関連する臓器の病態と治療

大項目	中項目	小項目	備考
1 唾液腺疾患	A 発育異常		
	B 異所性唾液腺		
	C 唾液瘻		
	D 口腔乾燥症		
	E 流涎症		
	F 放射線障害		

大項目	中項目	小項目	備考
	G	唾液管炎	
	H	唾液腺炎	
	I	ウイルス性唾液腺炎	
	J	免疫異常による唾液腺炎	
	K	Sjögren 症候群	
	L	外傷性唾液瘻	
	M	Frey 症候群	
	N	唾石症	
	O	外来異物	
	P	粘液（貯留）嚢胞	
	Q	粘液瘤	
	R	ガマ腫	
	S	Blandin-Nuhn（腺）嚢胞（前舌腺嚢胞）	
	T	リンパ上皮性嚢胞	
	U	唾液腺良性腫瘍	
	V	唾液腺悪性腫瘍	
	W	唾液腺腫瘍類似疾患	
	X	唾液腺疾患の治療	
	2 神経疾患	A	三叉神経痛
B		舌咽神経痛	
C		非定型顔面痛	
D		反射性交感神経萎縮症（カウザルギー）	
E		舌痛症	
F		癌性疼痛	
G		舌神経麻痺	
H		顔面神経麻痺	
I		軟口蓋麻痺	
J		Hunt 症候群	
K		顔面けいれん	
L		三叉神経麻痺	
M		舌下神経麻痺	
N		神経疾患の治療	
3 顎関節疾患	A	下顎頭欠損	
	B	下顎頭肥大	
	C	関節突起発育不全	